



科学って面白いね

8月8日～10日まで、前橋工科大こども科学実験教室を前橋プラザ元気21で行いました。科学の楽しさを知ってもらうために、昨年に引き続き2回目の企画。いろいろな実験や工作が行なわれ、科学への好奇心が芽生えた3日間でした。



前橋の歴史をつづる教材展

教育資料館では、9月13日まで「わたしたちの前橋～社会科副読本と地域教材展」を開催中。小学校の社会科副読本「わたしたちの前橋」を中心に地域教材を展示。初版から50年間の、子どもたちの学習や本市の変化が読み取れます。

笑顔あふれるホリデーイン

8月24日、敷島公園でホリデーインまえばしが開かれました。今年は「キミの笑顔が金メダル!! 2008」がテーマです。当日はあいにくの雨でしたが、フラフープ大会や多くのイベントを実施。子どもたちは元気に夏休み最後の日曜日を楽しみました。



鮮やかな花火に魅了され

大渡橋付近の利根川河畔で8月9日、前橋花火大会が開催されました。スターマインやナイアガラなど、約1万5,000発の花火を打ち上げ。大迫力の花火に観客からは何度も拍手が沸き起こりました。



市国際交流員

ダリオ・デ・レオさん・28歳
住吉町一丁目

楽しく国際交流をしましょう

市国際交流員として8月7日、高木市長から辞令を受けた。イタリアのナポリ市出身。今後、市文化国際課に勤務し、通訳や翻訳、外国人相談窓口、英語の広報紙編集など幅広い業務を行う。

「中学生の時、日本のアニメや漫画を見て日本の文化や言語に興味を持ちました」

国立ナポリ東洋大に在学中、早稲田大に1年間交換留学をした。この時に日本人の友人が増え、日本語がうまく話せるようになったという。

「将来は日本で仕事がしたいと思っています」

そんな中、イタリアの日本大使館で国際交流員の募集があり、採用されることになった。

「勤務地は、東京ではなく地方都市

を希望。何かと慌ただしい都会よりも、自然があつて人の心も優しい都市がいいと思っていました。前橋はそんな都市だと思っています」

食べ物は辛い物は苦手だが、日本食は何でも食べられる。特にとんかつが大好物という。

「前橋は豚肉が名物なのでみんなで食べ歩きに行きたいですね」

今後の抱負について聞くと、「自分で企画を立てて、積極的に仕事をしたいですね。市国際交流協会のイベントも、料理や映画、イタリア文化の理解講座などで、自分のオリジナルなものが発表できたらと思っています。機会があれば、市内の小中学校へ出向いて簡単なイタリア語講座もしてみたいですね」と目を輝かせて話してくれた。

若い芽のポエム

昨年度行われた第11回「詩のまち前橋若い芽のポエム」コンクールの応募作品から、小学生の部で入賞した作品を紹介。学年は応募当時のものです。

◆入選 わたしのお母さんの体

東小3年 上原 さやかさん

お母さんは、どうやってわたしを生んだんだろう。お母さんから、わたしが生まれてきたなんてすごいな。

人間の体ってどうなっているんだろう。わたしがお母さんに生まれてきてすぐうれしかった。でも、今度わたしが子どもを生んだら、どうやって生まれたかが分かるかなあ。

人間の心っていつも動いているけど、どうに動いているんだろう。わたしも口の中に入って心のぼうけん行きたいなあ。でも、小さくなれないからざんねんだなあ。

いまは、お母さんが、小さいころ、さやかはすごかわいかったよ。」

と言ったからすぐうれしかった。

やっぱり、おなかの中にいるのは、あかちゃんしかいないなあ。あかちゃんにもどりたいなあ。

◆入選 七五三

芳賀小1年 宮本 優香さん

わくわくうきうき。まだかなまだかなってまっていたよ。

きょうは、まえどりだよ。すぐうれしかったよ。メイクをしたよ。おかみもきれいにしたよ。うれしかったよ。ドレスもきたよ。きものもきかせてもらったよ。きれいだっただよ。ママが、おおきくなったね。よかったよ。

パパが、およめさんみたいだね。とわらったよ。

うれしかったよ。

うれねんも、またできたらいいのにな。